

令和7年度 ゆいまーる習志野介護老人福祉施設 運営推進会議次第

日時 ; 令和8年3月10日(火) 11:00~12:00

場所 ; ゆいまーる習志野地域交流スペース

参加者 ; 伊藤様、渡邊様、山下様、東海林様

白川施設長、長谷川主幹、増嶋相談員

1、はじめに

ゆいまーる習志野介護老人福祉施設 施設長 白川 久雄

2、状況報告 地域密着型介護老人福祉施設

- ・利用状況
- ・事故件数
- ・令和8年度運営推進会議日程について
- ・リハビリパンツの商品変更について
- ・行事・レクリエーション報告

3、現場見学

4、質疑応答、ご意見要望等

5、おわりに

- ・ゆいまーる習志野介護老人福祉施設 主幹 長谷川 千恵子

R8.3 ゆいまーる習志野 地域密着型介護老人福祉施設運営推進会議

担当者: ゆいまーる習志野地域密着型介護老人福祉施設
相談員

① 利用状況

月	在籍者延人数	実利用者延人数	稼働率	平均介護度	新規入所	退所
1月	604人	604人	97.4%	3.8	1人	0人
2月	554人	554人	98.92%	3.8	0人	1人

② 事故件数

月	転倒	転落	その他
1月	0件	0件	0件
2月	1件	0件	1件

(事故内容)

2月 転倒 1件

・事故①転倒

〈発生状況〉

21時50分頃、お部屋のセンサーマット作動によるナースコールがあり、職員が訪室しました。居室内で仰向けの状態で倒れているご本人様を発見いたしました。

〈原因〉

ご自身でベッドから車いすへ移乗しようとした際、車いすにつかまったものの、ブレーキがかかっていなかったため車いすが動き、バランスを崩して転倒されたものと考えられます。

・事故②内出血 1件

〈発生状況〉

1月30日、右鼠径部に内出血を確認いたしました。その後、2月10日の入浴時に、左鼠径部および左足背に黄色の皮下出血を看護師とともに確認しております。さらに2月16日の排泄介助時には、左臀部の皮下出血および左鼠径部が黄色から青紫色へ変化していることを看護師と確認いたしました。その後も色調の変化が見られたため、医療機関を受診し、現在は経過観察を行っております。

〈原因〉

当該ご利用者は全介助であり、身体の拘縮が強い状態です。そのため、オムツ交換時の体位変換や、ベッド上で頭部・下肢のギャッチアップを行う際に、ご自身で姿勢を整えることが難しく、身体の一部に負荷がかかった可能性が考えられます。

③ 令和8年度運営推進会議日程について

令和8年度の運営推進会議の開催日程につきまして、年間を通して予定を立てやすくするため、開催日を「毎月第二火曜日」または「毎月第二月曜日」のいずれかに統一させていただければと考えております。以前お伝えさせていただいた通り、上記のどちらかの日程で決めさせていただきたく存じますので、本日皆様のご意見をいただき、決定させていただければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

④ リハビリパンツの商品変更について

これまで使用していたリハビリパンツは、吸収量が多く安心して使用できる商品でしたが、失禁予防のためにパッドを併用することで重みが増し、ズボン周りがもたついてしまうことがありました。そのため、このたびより薄型のリハビリパンツへ変更いたしました。薄型にすることで衣類の上からの見た目がすっきりし、外見上リハビリパンツを着用していることが分かりにくくなり、ご利用者様のこれまでの生活スタイルや尊厳をより大切にできるようになりました。また、新しい商品は足周りにふんわりとフィットする設計となっており、すきまからのモレの低減にも配慮されています。今後も、ご利用者様の安心・快適さとともに、見た目や自尊心への配慮も大切にしながら支援を行ってまいります。

⑤ レクリエーション報告

1月 餅つき、初詣



2月 節分

